

文部省選定 環境庁地球環境部推薦 2000年教育映像祭優秀作品賞  
日本生活協同組合連合会推薦 東京都地域婦人団体連盟推薦

現在、地球環境が大きな問題になっているにもかかわらず、問題が大きすぎて個々の問題としてとらえにくくなっている。大人も子どもも環境問題を身近な問題にひきよせて考え、身のまわりのできることから始められる環境学習教材を制作した。



アキラは小学生。「温暖化で100年後の地球はどうなる？」という宿題を出された日、家の近くの神社で奇妙なひとりの老人にあった。その人は100年後の未来から来たという。しかもアキラの息子だと……。老人は100年後の地球を救うには、今の時代から二酸化炭素の排出を減らして欲しいと訴える。さらに、アキラ一家の地球環境を考えない今の生活を見直せば、1年間で10万円もお金がたまるかもしれないと聞かされ、早速、大張りきりでエネルギー節約大作戦を始めるが、すぐにギブアップしてしまう。すると再びあの老人が現れ、100年後の悲惨な地球の姿を示して、無理せず自分たちで出来ることからやって欲しいとアドバイス。お母さんのリーダーシップで、再スタートをしたアキラ一家だった。

そして、ついに1年後、その成果が明らかになる日が来た。お金は目標額に及ばなかった……。しかし、1年前の家族ではなくなっていた。新しい価値観で生活を見つめ、地球環境の未来に関心を持つエコファミリーが誕生したのだ。

劇  
ビデオ  
カラー／28分

- 自主企画
- 協力  
中野区立若宮小学校  
貯蓄広報中央委員会

スタッフ

- 製作  
村山英世
- 原案  
花崎 哲
- 脚本  
北里宇一郎
- 演出  
杉本信昭
- 演出助手  
米村栄子
- 進行  
竹岡 実
- 撮影  
中村與志久
- 撮影助手  
今野聖輝
- VE  
佐瀬博之
- 録音  
山崎茂樹
- 照明  
石田 厚
- 美術  
三ツ松けいこ
- 音楽  
合田享生
- 編集・録音  
東京テレビセンター

- 出演  
未来の老人：  
天本英世  
アキラ： 木下慧人  
父： 岡山はじめ  
母： 古賀逸子  
姉： 浜浦麗菜